

注意したい

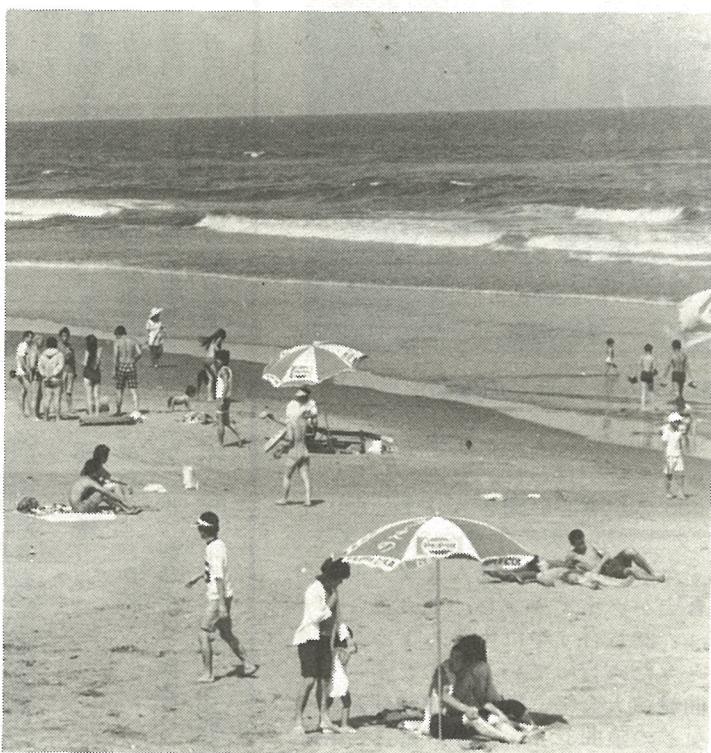
夏休み中の青少年たち

花火の取扱いは

強い太陽の日さしが、ジ
リジリと照りつける夏がき
ました。

学校は夏休みをむかえ、

子供たちは自由解放な気分にしたります。長い夏休み期間中は、青少年の犯罪、事故などが年々増加していますので、十分注意したいものです。



子供を交通事故

から守ろう

者の皆さんには、次の点に注意して
ください。

①、公園など安全な家庭での注意点

①、公園など安全な遊び場所を指定して、車道への飛び出し、路上での遊び、児童のひとり歩きを防止する。

②、子供を見たら赤信号と思い 安
全な間隔を保ちつつ、いつでも停
止できるよっ徐行する。

ヘルメットをかぶる「自動」「電車の運転者

夏休みに入ると、子どもの交通事故の件数が増加します。長い休みの解放感による子供自身の心のゆるみと、夏の暑さのため運転車の注意力がぶるためです。

明日の社会をになう大事な子供の生命を守るために、家庭及び運転

②、日常の生活の中で、交通安全教育を具体的にくり返して教える
③、夏休み中は、特に危険な自転車乗りが目立つので、安全運転を指導する。

（運転者の注意）

- ①、暑くなると過労が交通事故に
 結びつき易いので、睡眠を十分と
 り自らの健康管理を心がける。
- ②、子供を見たら赤信号と思い安
 全な間隔を保ちつつ、いつでも停
 止できるよう徐行する。

注意したい 少年の非行化

少年たちにとつて、夏休みは一番の楽しみです。しかし、夏休み

少年たちにとって、夏休みは一番の楽しみです。しかし、夏休み中は少年が非行化する機会の多い時もあります。これには、いろいろな原因が考えられますが、まことに、少年たちは一ヶ月余りの長い期間にわたって規則正しい学校生活から解放されます。これがややもすると生活の規律を乱して、遊

夏休み中の少年の非行化を防ぐ

ひぐせをつけることになります。
また、花火大会、盆踊りといつた
夜の行事があることも、好ましく
ない遊びを覚えることにつながります。
それだけに、家庭では少年
に対する注意を忘れないようにし
ましょう。

昨年、全国で発生した花火による事故は、百十二件に達し、八十四人の負傷者を出しています。夏の夜の楽しい花火遊びから、

花火は、ことにもに向いたものを使ふ。花火をほぐして使つことや、ギケットに入れて持ち歩くことは絶対にさせない。

夏の夜空をいろどる花火は、風物詩として欠かせないものです。

花火を使うときは、「使用方法をよく読んで正しい遊び方をするへ遊び場所を選ぶ

悲しい事故を起さないよう次の点に十分注意しましょう。